



福井商工会議所
会頭 川田 達男

会頭就任にあたって

将来を見据えた 企業と地域の 変革に向けて

この度、皆様のご推挙により引き続き福井商工会議所会頭を拝命いたしました。地域総合経済団体である商工会議所の役割は益々増しており、改めてその責務に身の引き締まる思いです。会員の皆様をはじめ関係各位のご支援、ご協力を賜りながら、全力を傾注してまいります。

さて、かつてないスピードとインパクトで、経済・社会情勢が変化しています。企業や地域には、持続的な成長・発展に向けて、時代の変化にシなやかに対応した変革による新たな付加価値の創造が求められています。

商工会議所としても、人口減少・超高齢社会、第4次産業革命などの時代変化や潮流を捉えた企業経営の支援、北陸新幹線敦賀延伸などの先を見据えた地域基盤づくりに、しっかりと対応していかなければならない極めて重要な時期と認識しています。

これからの3年間、企業と地域の変革に向けて、福井商工会議所は「中小企業・小規模企業

支援の強化」「地域振興・活性化の推進」「商工会議所組織の活性化」の3つの方針のもと、商工会議所自らも革新を図りながら、進取の精神を発揮した会議所活動に取り組んでまいります。

1. 中小企業・小規模企業支援の強化

企業が商工会議所に求める支援内容は、高度化・専門化しています。専門家や金融機関・支援機関など関係機関と連携し、企業に寄り添い、きめ細かな質の高い支援を行ってまいります。

「3年間の重点取り組み」 (1) 伴走型による

経営計画づくりと実行支援

時代変化を捉えたビジネスモデルの転換と、生産性向上に向けた中小企業・小規模企業の意欲ある取り組みを支援します。金融機関・報道機関等と連携し、経営計画の作成から資金調達や情報発信に至るまで、実現性の高い計画づくりと計画実行を一体的に支援します。

(2) 海外展開、イノベーションへの挑戦を支援

人口減少時代における海外需要の獲得や労働市場としての海外展開について、県やジェトロと連携した支援事業を行うほか、テロや災害等の現地情報の発信や取引企業の紹介など、海外展開支援の強化を図ります。

また、IoT技術やAIに代表される新たな産業技術は、ビジネスを大きく進化させ、新たな付加価値を創造します。新産業技術を活用した企業のイノベーションへの挑戦を支援します。

(3) 人材確保と働き方改革に挑む企業への支援

労働力人口の減少や若者の就業意識の変化など、企業は処遇の改善や従来の働き方を見直す時期にきています。ふくいジョブカフェ・行政機関・大学等と連携し、学生の県内企業就職や、UIJターンの促進など人材確保に向けた支援事業を展開するほか、働き方改革への企業の実務対応を支援します。

その他、多様化する経営課題に対し、商工会議所が保有するリソースを余すことなく投入し、企業の経営力向上、経営基盤の安定・強化に取り組みます。

2. 地域振興・活性化の推進

福井国体・障害者スポーツ大会、北陸新幹線敦賀延伸、中部縦貫自動車道全線開通、東京五輪など、この先ビッグイベントを抱える福井県は、大きな転換期にあります。これらを地域活性化の好機と捉え、観光振興、まちづくり、産業の活性化など、地域の基盤づくりを進めなければなりません。

「3年間の重点取り組み」 (1) 新幹線福井開業対策プランの 着実な実行

今年3月に策定した北陸新幹線福井開業対策プランを軸に、福井駅周辺の機能強化、観光資源の磨き上げとブランド化、2次交通対策など、企業・自治体・関係団体等と連携し、着実な実行を目指します。併せて、観光

や産業面での北陸・関西地域や中部縦貫道沿線地域との広域連携・交流を促進し、交流人口やビジネス機会の拡大を図ります。

(2) まちなかの魅力向上

福井駅西口広場と再開発ビル「ハピリン」が完成し、県民・市民の視線が中心市街地に向けられたこの好機を逸することなく、中心市街地での開業者支援やリノベーション活動への協力など、まちなかに新しい風を吹き込み、活性化を図ります。

(3) ビッグイベントを見据えた 商業・サービス業等の活性化

福井国体、北陸新幹線敦賀延伸、中部縦貫道全線開通、東京五輪を見据えた新商品開発、地域ブランド作り、販売促進、人材育成など、地域商業・サービス業等の観光産業の活性化に取り組めます。

その他、敦賀港の利活用、エネルギー研究開発拠点化の展開、ふくい創生・人口減少対策

など県下の重要なプロジェクトについても、地域総合経済団体として取り組んでまいります。

3. 商工会議所組織の活性化

商工会議所は会員の皆様に支えられて成り立っております。会員の皆様から支持され、期待に応えられる商工会議所でなければなりません。組織力を高め、職員一人ひとりのスキルアップを図るとともに、会員の皆様に活用いただける会員サービスメニューの拡充に取り組めます。

「3年間の重点取り組み」 (1) 会員交流事業の活発化

業種や規模の異なる企業同士が交流できるのが、商工会議所特有の魅力です。会員交流事業を活発化するとともに、29年度には第2回会員大会を開催します。9つの部会主導で企画・構成を行い、会員組織である商工会議所らしい大会を目指します。

(2) 会員サービスメニューの拡充

より多くの会員の皆様にご活

用いただけるよう会員サービスメニューの拡充に取り組みます。経営リスク低減に向けた経営情報の提供、新規団体保険の開発、健康経営の導入支援など、企業経営に有益となる新たなサービスメニューの開発に取り組めます。

(3) 経済産業・社会情勢の変化に 対応した委員会活動

中小企業の振興や地域活性化策を調査・研究する委員会活動は、商工会議所活動の根幹です。委員会構成を再編し、多様化・複雑化する企業や地域が抱える課題に対応した活動を進めます。

商工会議所の組織と事業をさらに充実させ、会員の皆様と一緒に、山積する様々な課題を乗り越えていきたいと考えております。福井商工会議所の総力を挙げて企業を支援し、活力ある地域の実現に向けて邁進いたします。会員の皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。